



Profile

「ソト・ウチ」プロデューサー

西浦克至

Katsushi Nishiura

1968年、奈良県香芝市生まれ。近畿大学卒業。大手ハウスメーカー入社後、東京で店舗系の土地開発に約7年の間携わる。1998年独立、故郷・香芝市にて「関西ハウジング」設立。2006年に法人化、現在に至る。

街並みのデザインも豊かに

「ソト・ウチ」のもうひとつの大きな特徴は街並み。隣地や道路との境界を感じさせない曲線の外構と、豊かな植栽で街の一体感を高めている。同時にお隣さんとはちょうどいい距離を取った設計に。さらに、これまで以上に陽当たりを正確に把握するため、コンピューターソフトでのシュミレーションを導入。場所・日時・周辺建物などを考慮して、建物や窓のベストな配置を計算できる。「ソト」にこそ住まいの重要な点がある」と西浦さん。



あたたかな陽光が降り注ぐ「陽だまりゾーン」や街並みのつながりを生み出す曲線の外構。暮らしごとに誇れる住まいへの評価は、高まる一方だ。



SUCCESS of STORY

— 成功のヒケツ —

お客様とのつながりを大切にするのは当然。西浦さんがもうひとつ大切にしているのは、土地を造成し、図面を引き、家を建て、庭をつくってくれる業者さんたちのつながり。18年前の創業時からほぼ一貫したチーム構成で、西浦さんは業者さんに絶対の信頼をおき、業者さんはそれぞれのプライドにかけて、アフターケアまで含め、全力でそれに応える。



1 2 3 街の良さが住まいの良さを何倍にもしてくれ、住む人の笑顔と誇りが街をより豊かに。西浦さんたちが生み出すのはそんな幸せのサイクル。



西浦さんと同社スタッフの真摯な「志」を共有する業者さんたちとの強固な信頼関係。丁寧に誠実に。その思いをお客様の住まいと街に紡ぎ出していく。

まずはモデルハウス見学で「ソト・ウチ」を体験したい。



分譲住宅 株式会社 関西ハウジング

カンサイハウジング

☎0745-79-8855

奈良県香芝市旭ヶ丘1-29-2

9:30~19:00

水・木曜日

http://www.KANSAI-HOUSING.jp

バルコニーの屋根、窓と庇、家事動線、窓の配置…。住み始めてからさらに同社の提案に納得する、という声は多い。特に街の一体感や区画割りの重要性などは、時間が経つほどその価値を噛みしめることになる。まずはモデルハウスの見学をぜひ。



1 NARA

街並みからこだわった住まいの形

ソトマデ考えられたウチ

「3軒目でやっと理想の家が建つ」という言葉。家を建て、住んで初めて気付く新たな要望があるということだが、なかでも意外と最後に気付くことになるのが「街並み」。大きな支持を得続けている、「ウチからソトまで」考えつくされた住まいの提案に耳を傾けたい。

“パッシブデザイン”という選択で 価値ある住まいづくりを区画割から

「家や店舗づくりという、地図に残る仕事に魅力を感じ、大手ハウスメーカーに就職しました」と柔らかな笑顔で話す西浦克至さん。ソト・ウチ・ソトマデ考えられたウチのブランドで分譲住宅のプロデュースを行う「株式会社関西ハウジング」代表取締役だ。ハウスメーカーで仕事と業界についての知識と経験を積んだ後、地元・香芝市に戻って自らの事務所を設立。当初から街並みと住まいのあり方に強い志を持っており、最初の分譲地を見つけたら1年を費やした。その後、今日に至るまで時を重ねるほどに重要性を感じるのが、分譲地の区画割だ。一般的に省エネ住宅の指標とされる「省エネ等級」。窓に使用するガラスの種類といった種々の要素で等級分けされるが、現実には陽当たりなど、自然条件で状況はまったく異なる。早くからこの矛盾に気がついてきた西浦さんは、太陽光や風など自然エネルギーを活用した「パッシブデザイン」の家を提唱。そして、限られた土地と予算のなかでは建物の配棟を考えた区画割りが最も大切だと言う。独自の基準を設け、どの区画にも南向きにスペース(ひだまりゾーン)を確保。この段階の計画を重視することで、コストパフォーマンスの高い本物の省エネ住宅が可能となる。